

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人東根福祉会 放課後等デイサービス大けやき			
○保護者評価実施期間	令和7年1月9日 ～ 令和7年1月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年1月9日 ～ 令和7年1月27日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月27日～			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●多彩な活動プログラムへの取り組み 事業所内だけでなく外部での活動も多く取り入れ、様々な経験ができるように計画している。	季節に合わせた行事やイベント、外出、ボランティアの方々との交流に取り組んでいる。長期休み時には地元内外の工場見学や公共施設、遊技施設、消防署や防災センター見学、買い物練習など、社会参加につながる活動を行っている。公共でのマナーを知ったりお金の払い方などを学んだり、様々な経験ができるように取り組んでいる。 また、学校休業日の昼食づくりや手作りおやつの日を企画し、食育をはじめ、作る楽しみ、食べる楽しみ、調理器具の安全な使い方や達成感を育む活動として活発に行っている。	今後も子どもたちの興味関心を探りながら、社会経験を豊富にする取り組みに行っていく。 活動内容がマンネリ化しないよう、新たな場所や内容を検討していく。
2	●アットホームな温かく明るい雰囲気 子どもたちが通所を楽しみにしてくる幅広い年齢層小学1年生から高等部3年生まで一緒に空間でともに活動している。	元気な明るい話し声、笑い声が飛び交うことで、自然と笑顔になることができる。職員も子どもたちも共に楽しむ。楽しいことが一番、「明日も来たい」と思える事業所を心掛けている。 異年齢での活動の中で、上学年の子の真似をして様々なスキルを習得したり、下学年の子を思いやりながら、リーダーとして考えて動ける力が育つように支援している。	職員間のコミュニケーションを大切に、それぞれの職員の強みを生かし、笑顔で支援ができるよう連携を図っていく。 今後も新しい遊びや活動を提供し、ますます楽しみを持って通所できる事業所運営に努める。
3	●同法人内に介護施設や障害福祉施設があること	特に障害福祉施設とは交流があり、高等部の利用者を主とし就労に向けて見学や作業体験などを行っている。	さらに将来を見据えた取り組みを提案していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●施設環境の課題 子どもたちがのびのびと体を動かすことが出来るスペースがないことや一人の空間が作りにくい。 駐車場の確保が難しい 保護者様に送迎など来所時にご迷惑をおかけしていることがあります。	マンションのワンフロアタイプ室を賃借している。	移転も含めて、今後の検討課題と認識している。環境構成を工夫したり、他施設や戸外での活動に今後も取り組んでいきたいと思っています。
2	●地域との連携の希薄さ 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ないこと	地域との交流が公共施設、公園、店舗の利用、地域のボランティア団体などの受け入れ、ごみ拾いなどのボランティア活動等にとどまっている。地域住民の方々と関わりを持つことが難しい。 地域に向けて発信する機会が少ない。 保護者様がそこまで求めていない。今の活動で十分というご意見が多い。	公園や遊戯施設で挨拶をしたり、遊具の貸し借りやこちらの遊びに誘ったりしながら少しでもかかわれるように支援をしている。 保護者様のご意向を再度確認し、要望があれば検討していく。
3	●職員の年齢や性別のバランスが悪い 若手職員が切磋琢磨し成長できる環境であってほしい。 年々職員の高齢化が進み、体力的に負担となっている。	法人内の人手不足	中堅職員、若手職員の法人内異動及び公募での採用